

日本バウハウス協会
講演（対面＋zoom）
新宿NSビル16階
ミサワホーム本社 E-B会議室
2026年11月11日(水)
18:30 - 20:00



海老澤 模奈人

バウハウス時代の住宅団地-ジードルンク 近代建築家が創り出した住環境とその持続性

バウハウスが活動した1920年代のドイツでは、第一次世界大戦後の住宅不足の解消や居住環境改善の必要性から、大衆のための住宅建設がテーマになりました。バウハウス初代学長ヴァルター・グロピウスも、デッサウ市のテルテンに前衛的なジードルンク（住宅団地）を建設しています。この時代のジードルンクの特徴は、近代的で合理的な建築デザインと、広々とした屋外空間にみることができます。そこに当時の建築家たちの住まいの理想が反映されていました。建設後100年を迎えるジードルンクの多くは今も現役の住宅として住み継がれています。近代建築家たちによる先進的なジードルンクの取り組みとその持続的な価値についてお話しします。

講師 海老澤 模奈人（えびさわ もなど）

東京工芸大学工学部教授。1995年東京大学工学部建築学科卒業。ウィーン工科大学、ミュンヘン工科大学留学を経て、2003年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了。博士（工学）。専門はドイツ・オーストリアを中心とした近代建築史・西洋建築史。

著書に『ジードルンクー住宅団地と近代建築家』（鹿島出版会、2020、2022年日本建築学会著作賞）、『スターハウス 戦後昭和の団地遺産』（編著、鹿島出版会、2023）、訳書にW.ネルディンガー『建築・権力・記憶』（鹿島出版会、2009）など。

主催 日本バウハウス協会(お問い合わせ)
<http://nipponbauhaus.jp>
講演は無料(Zoom)

講演申し込みは2次元コードまたは下記URL
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_8OX0a4spSo-KG0RI5vTG2Q

